

掛川市立総合病院・看護部教育委員会

nurse cap ナースキャップ

教育だより
No.44

平成18年1月31日



右下腿骨折をダンボールで固定し搬送

パートナーズ 研修

平成17年10月20・21日

災害現場で

その時あなたは



頭部外傷の応急処置



意識のない方を毛布と洗濯ざおで搬送

防災意識の高まっている中、パートナーズ研修でも防災について取り組みました。設備も薬品もない災害現場でそこにあるものを利用したアイディアいっぱい応急処置でした。

第一外来 鈴木美恵

人が倒れている。「どうしましたか?」「誰か来て!」人を呼び、救急車に連絡:応急処置。こんな場面に勇気ある最初の一言の声かけが人命救助につながってゆく。改めて確認した研修でした。

研修は、災害における受傷設定があり、「止血」「骨折」「搬送」のグループ発表でした。

傷口がバツクリと開き、血のりのついた顔、腕、足、白衣を脱げば一家庭人としてはおばさん達(いえお姉さん)も即座に医療従事者としての自覚がめざめます。

「素手ではいけない」とスーパールのビニール袋に手を通し、てきぱきと止血、固定をしました。Yシャツを三角巾の代用とし、祭典の帯も固定に丁度良い具合でした。加えて役者としての才能も研修を盛り上げました。さらなる看護技術の確立を自分自身の課題したいと思います。